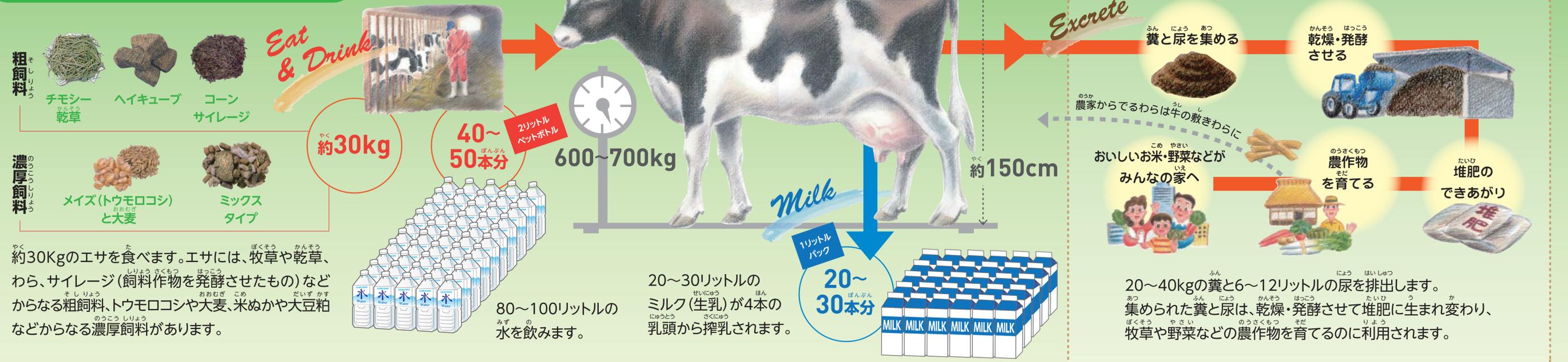


# 乳牛のことを知ろう

～乳牛からミルクが作られる仕組み～

## 乳牛について(1日の動き)



## 乳牛の種類

日本の乳牛の98.7%を占めるのは、白黒のまだら模様でおなじみのホルスタイン種ですが、他にも様々な種類の乳牛が存在します。



ホルスタイン以外にもこんなに乳牛がいます。



## 乳牛のライフサイクル

### ミルクができるまで約2年

乳牛は、出産しないとミルクを出すことができません。生まれた雌子牛がミルクをだすまでには長い年月がかかります。



**乾乳** 搾乳を始めてから約280日から300日たつと、次の出産にそなえて搾乳をやめ、2~3ヶ月の休みをとります。このときの牛を乾乳牛と呼びます。

3.4サイクル



### 食肉等へ

牛の平均寿命は本来は12年くらいですが、乳牛の場合、たくさんのミルクをしぼるために約5~6年でその役目を終え、食肉等へまわされます。

### 搾乳(ちちしぼり)

出産してから約280日から300日間、ミルクをしぼります。朝・夕2回の搾乳を行うところが多く、1頭の牛から1日20~30リットルのミルクをしぼります。

資料提供: (一社)中央酪農会議

参考: 農林水産省 畜産統計調査 / (独)家畜改良センター 固体識別全国データベース (公社)中央畜産会 畜産ZOO鑑 / 十勝NOSAI技術情報 / 雪印メグミルク株式会社 乳牛のライフサイクル

